



高橋 佐代子 議員  
(改革未来・自民の風)

## 学校管理職（校長）の資質について



**問** 学校管理職選考試験の状況は。誰でも推薦するのか。

**答** (教育長) 積極的に管理職を希望する教員、そして教員人数そのものも減っている状況です。市で選考した全員が県の選考試験を受けていますが、簡単ではなく、特に校長選考は合格しない場合も多くあります。にもかかわらず、保護者や地域の方の信頼を十分に得ることができず、学校経営に苦慮した事実があります。このようなことが起きないように研修や指導をしていきます。

**問** 学校教育法第37条に「校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する」とある。ある学校では、子供達が担任の顔色をうかがいながら毎日を過ごし、担任の叱責によって登校を渋る等の問題があり、学年の保護者全員で教育長へ相談され、学級懇談会でも明確な説明や対策が示されず、不信感が募るばかりだったと聞かすが、対応は。

**答** (教育長) ご指摘のとおり、感情的ともとれる指導を繰り返す教員がおり、校長が指導しましたが、児童や保護者が納得できる改善がなかったのは事実で、非常に申し訳なく思っています。教育委員会でも校長や担任を指導し、担当課長は同僚教員から様子を聞き、担任の指導力向上について支援するよう指示しました。と

ころが、事実関係が分かるにつれ、指導や指示が十分でなかったことを深く深く反省しています。

**問** この校長は、地方公務員法第28条の降任、免職の事由に該当しないのか。学校評価結果を公表せず、保護者からの指摘で公表し、低い評価を隠すような操作をしている。また、教員が遠方の学校へ勤務することになり年休を申し出たが、許可しなかったと聞いた。パワハラだと思うが、知っているのか。

**答** (教育長) 校長については、地方公務員法第28条の適格性を欠くまでは至らないと判断しています。また、年休の件は当該教員から話を聞き、状況によってはパワハラに該当するため、校長には強く指導しています。



西脇 親 議員  
(改革未来・自民の風)

## 子育て応援5つの無料化と教育改革①



**問** 5つの無料化のこれまでの実績と成果、転入者がもたらす経済効果はどうなっているのか。

**答** 無料化に伴う経費は、令和4年度が4億4,200万円、令和5年度は、給食費の無料化が2億3,500万円、医療費の無料化が2億800万円、保育料が8,600万円、おむつ等の定期便が600万円、病児・病後児保育が100万円の5億3,600万円です。

未就学児童は、令和2年が1名減、令和3年が25名増、令和4年が41名増、令和5年が47名

増となり、22歳から39歳までの子育て世代は、令和2年が148名減、令和3年が176名減、令和4年が75名減、令和5年が87名減です。40歳から59歳までの中年層は、西高室地区の住宅開発が影響し、5つの無料化よりも早く増加に転じています。社会増減のデータから、令和4年以降は5つの無料化が就学前児童とその親世代の転入出にプラスの影響を及ぼしていると評価しています。

**問** 5つの無料化で移住するのではなく、最優先の要因は教育となしてほしいが、加西市で教育を受けたいと思えるまちとするために目指しているもの、特徴は。

**答** 子供を育てるためのビジョンとして、挑戦・協働・創造 = チャレンジ・コラボレー

ト・クリエイトができる3C人材の育成を掲げており、そのために、まず加西の教育3本の矢「加西BASE、加西STEAM、加西GLOBAL」に取り組んでいます。

また、安心して子育てできる環境が大事であると考えます。特別支援教育では、特別支援教育支援員の配置、そして教育環境改善のため、今年度はデジタル教育ソフトを導入します。教育現場では、いじめ見逃しゼロを掲げ、学校任せにせず、オープンにして解決しています。

不登校支援では、校内フリースクール、ふれあいホーム、不登校支援員を配置し、丁寧に対応します。子育てひろば、総合教育センター、児童療育室では、保護者が安心して気軽に相談できる場も設けます。今後の学校再編では、通学バスも通学の安全・安心につながっていくものと考えています。